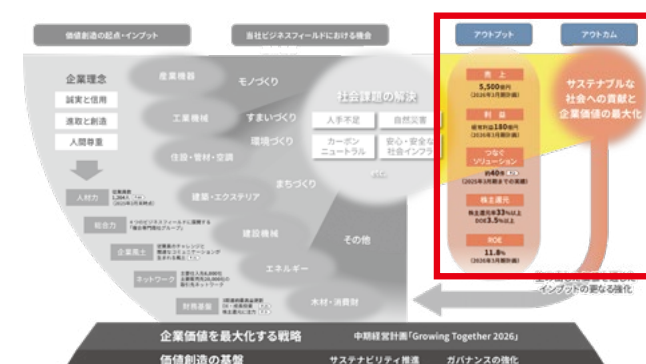


「つながり」の成果



コア事業 - 52

特集② 新市場への展開（介護・医療／食品／農業） - 58

経営指標 - 59

非財務データ集 - 60

ユアサ商事グループネットワーク - 61

株式情報／会社概要 - 62

コア事業

工業マーケット事業本部

産業機器部門

業界トップクラスの品揃えとコンサルティングノウハウにより、製造現場のスマートファクトリー化を推進します。



主な事業

- 工業機器、物流機器、ロボット等省力機器、省エネ機材の販売

関連する主な市場

- 自動車、半導体製造工場などの製造業
- その他すべての製造業
- 物流倉庫、食品工場 など

市場環境

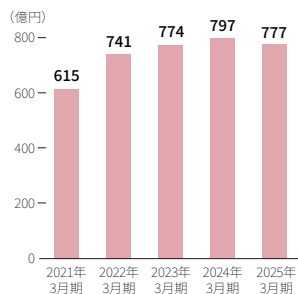
【機会】

- カーボンニュートラルに対する需要増
- 半導体市場の拡大
- 少子高齢化による省人化投資増
- 工場におけるBCP 投資増

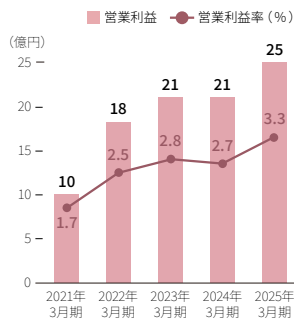
【リスク】

- 就業労働人口の急速な減少による供給力の低下
- トレードビジネスにおける価格競争による利益率の低下
- 自動車・半導体市場をはじめとするモノづくり市場の環境変化

売上高

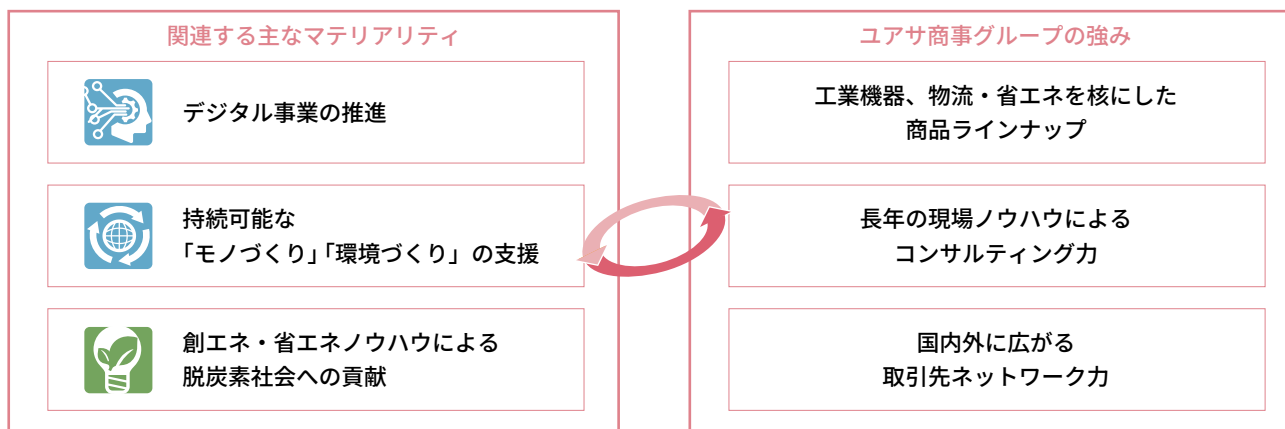


営業利益／営業利益率



※ 2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後

マーケットアウトと強みの組み合わせ



つなぐイノベーションの例

【マテリアリティ】 創エネ・省エネノウハウによる脱炭素社会への貢献 × 【強み】 長年の現場ノウハウによるコンサルティング力

日本と世界のモノづくりの現場におけるカーボンニュートラルを支援

業種・業界を問わずすべての事業者がカーボンニュートラルに取り組むことが求められる今、当社の販売先様である工場などに向けたカーボンニュートラル提案を推進しています。

当社が取り扱う「ecomio」（右写真）は、電力供給時のロスを低減することで電力効率を高め、消費電力量を節減する「節電ユニット」として国内外に多数の導入実績を有します。2024年8月には、タイ、インドをはじめとする海外10の国と地域における「ecomio」の総代理店権を獲得しました。グリーン事業におけるノウハウも活用し、日本と世界のモノづくり現場におけるカーボンニュートラルの実現に貢献します。



電力効率を高め、消費電力量を節減する節電ユニット「ecomio」

コア事業

工業マーケット事業本部

工業機械部門

モノづくり支援の目線から社会課題の解決を目指したソリューションを展開します。



主な事業

- 工作機械、ロボットをはじめとする省力化機器、板金加工システムの販売

関連する主な市場

- 自動車製造業（NEV への対応）
- 半導体製造装置業
- 精密板金市場
- 航空・防衛産業 ほか

市場環境

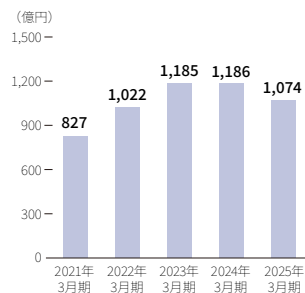
【機会】

- AIを活用した生産及び計測システム商品の販売増
- 人手不足による自動化加速とDX、システム商品の販売増
- EV化による新加工市場の誕生

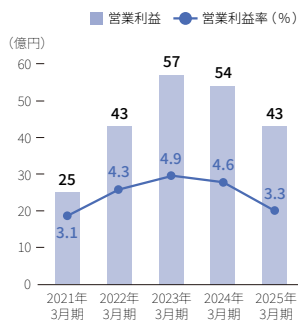
【リスク】

- 国内の人口減少による市場の縮小
- 人手不足やコスト増による生産能力の減少
- EV化による部品減少と製造方法の変更

売上高



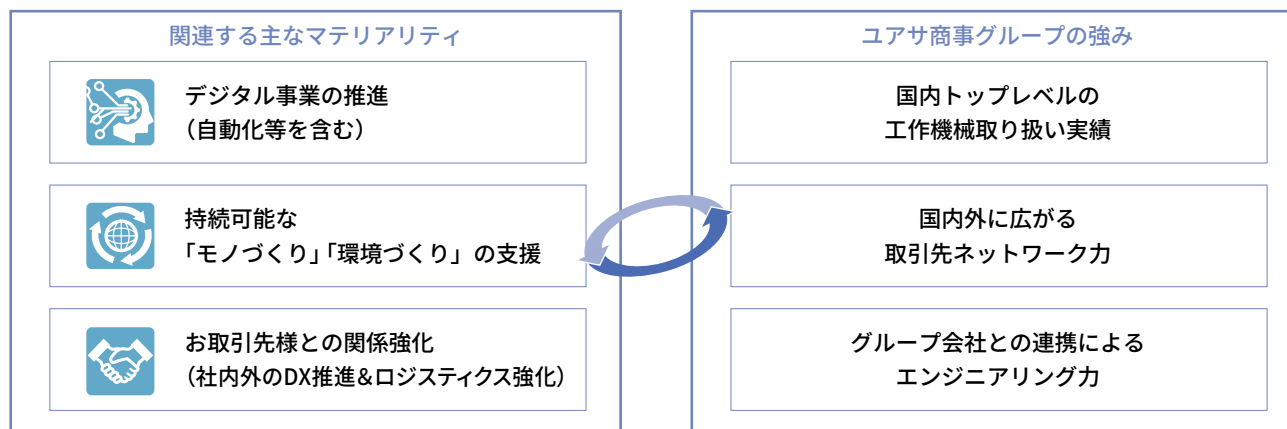
営業利益／営業利益率



※ 2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後

※ 組織再編により、2024年3月期の実績値は遡及適用後の数値になっています。

マーケットアウトと強みの組み合わせ



つなぐイノベーションの例

【マテリアリティ】 デジタル事業の推進 × 【強み】 取引先のネットワーク力

精密板金分野の省人化・省力化に貢献するオリジナルソリューション

モノづくり現場全体の人手不足が進行する中、特に高い技術を要求される溶接現場における、デジタルを活用した課題解決に取り組んでいます。

2024年8月に出資を行ったアルファ TKG は、「板金 DX」を通じたモノづくり現場の省人化・省力化ソリューションを提供しています。当社取引先ネットワークと同社の技術とをつなぎ開発した「alfa JULIA (アルファジュリア)」は、業界初となる協働ロボットを活用したファイバーレーザー溶接システムです。AIによるダイレクトティーチングで、段取り時間の大幅な削減と、リピート生産時の溶接品質の均一化を実現しました。歪取りや後処理の工数も節減でき、溶接工程のデジタル化による生産性の向上を通じ、人手不足の解消に貢献します。



当社出資先のアルファ TKG と共同で開発・展開する「alfa JULIA」

コア事業

住環境マーケット事業本部

住設・管材・空調部門

独自のエンジニアリング機能を活用し、住環境・オフィス環境をトータルコーディネートします。



主な事業

- 管材、空調機器、住宅設備機器、再生可能エネルギー関連機器の販売

関連する主な市場

- 管材卸商・プラントエンジニアリング会社
- 住宅設備店、サブコン、リフォーム業者
- デベロッパー、ビルダー、建設会社 など

市場環境

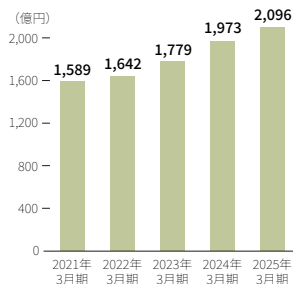
【機会】

- リニューアル市場の拡大
- カーボンニュートラルに対する需要増
- GX（グリーン転換）実現に向けた投資競争の加速
- 海外市場の需要増

【リスク】

- 人口減少による新築住宅需要の減少
- 資材価格の高騰
- 人手不足・人件費上昇による工期の長期化
- 為替の変動

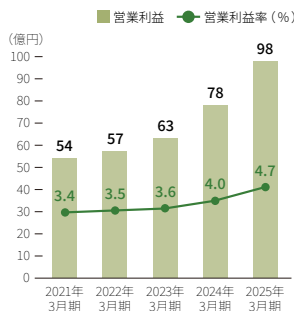
売上高



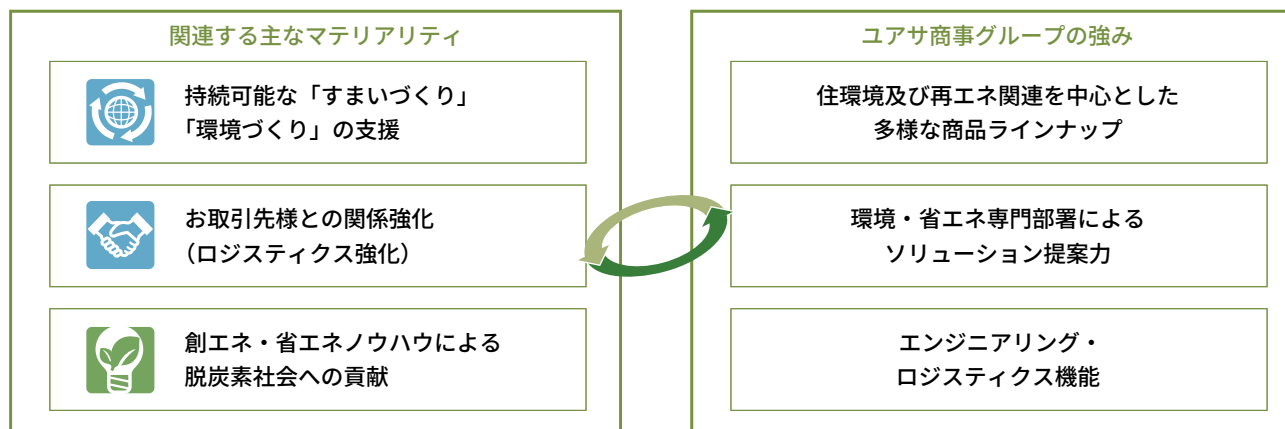
※ 2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後

※ 組織再編により、2024年3月期の実績値は遡及適用後の数値になっています。

営業利益／営業利益率



マーケットアウトと強みの組み合わせ



つなぐイノベーションの例

【マテリアリティ】 創エネ・省エネノウハウによる脱炭素社会への貢献 × 【強み】 エンジニアリング・ロジスティクス機能

「環境」への対応と「省人化・省力化」に向け、機能と技術力で解決する

エネルギー価格の高止まりなどを背景に、商業施設やオフィスビルにおける省エネ化に向けた空調機器の販売が増えています。その中で、現場の働き方改革や人件費の上昇などを受けた「工期の長期化」が課題となっています。

当社では、千葉県柏市の関東物流センター内で専門技術者による空調機改裝作業を行っており、特殊仕様の短納期対応や現地での分割納入支援も行っています。またバルブの自動化・禁油処理作業も手掛けています。現場作業をできるだけ少なくし、省人化・省力化による工期の短縮を実現するとともに、当社が提供する付加価値の向上による収益性の引き上げにも貢献しています。2025年3月期は前年比で約160%の案件増となり、今後取り扱いの拡大を進めていきます。



当社の関東物流センター内で行っている専門技術者による空調機改裝作業の様子

コア事業

建設マーケット事業本部

建築・エクステリア部門

高いシェアを有する国内市場の強みを活かし、公共・海外向け販売強化によりビジネスを拡大させます。

主な事業

- 建築資材、景観・エクステリア、土木資材などの販売、外構資材設置工事の設計監理及び請負

関連する主な市場

- 外構エクステリア市場
- 道路・土木・インフラ工事市場
- 建築金物市場

市場環境

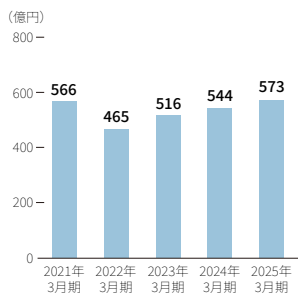
【機会】

- 社会インフラの更新需要
- 大都市の再開発プロジェクト
- IoT・ICT・AI・自動運転等デジタル技術の普及
- EV・再エネ関連製品の需要増

【リスク】

- 調達コスト増（物価高騰、物流における2024年問題など）
- 新規住宅着工戸数の減少
- 建材業界の再編による競争環境の変化

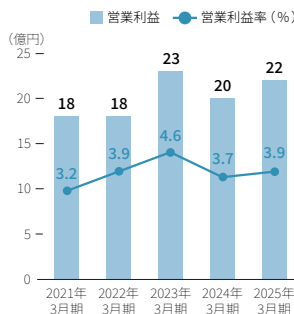
売上高



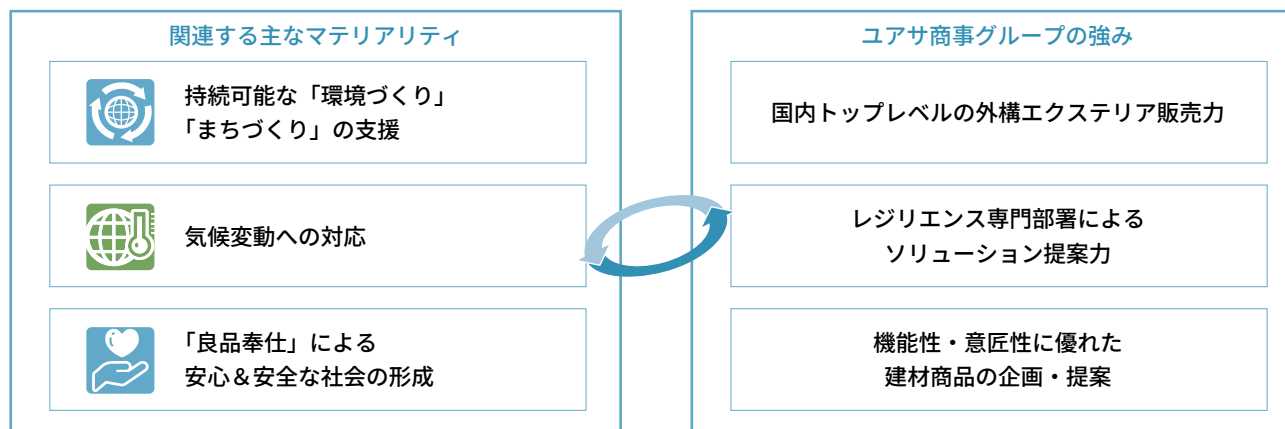
※ 2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後

※ 2023年3月期の組織再編により、2022年3月期の実績値は遡及適用後の数値になっています

営業利益／営業利益率



マーケットアウトと強みの組み合わせ



つなぐイノベーションの例

【マテリアリティ】 持続可能な「環境づくり」「まちづくり」の支援 × 【強み】 機能性・意匠性に優れた建材商品の企画・提案

景観になじむデザイン性と高い機能性を両立したソリューション提供

建築・エクステリア部門の扱う製品・サービスは、街区、商業施設やビル、住宅など、日々の暮らしと密接に関わるビジネスフィールドに展開しています。当社グループは、身近な社会課題の解決を通じて、快適性や利便性を感じられる新たなライフスタイルを提案する存在でありたいと考えています。

例えば、工場や商業施設・住宅などで活用できる、太陽光パネルを搭載した「ソーラーカーポート・バイクポート」や、夜間の歩道を華やかに演出する「照明付きボラード（車止め）」など、メーカーと共同で機能性と意匠性を両立した製品の開発・提案に注力しています。これからも社会インフラの更新需要に応える、付加価値の高いソリューション提供に向けた取り組みを継続していきます。



ソーラーカーポートをはじめとしたカーボンニュートラルに貢献する商品展開

コア事業

建設マーケット事業本部

建設機械部門

「モノ」と「コト」をつなぎ新しい付加価値を創造し、持続可能な「まちづくり」へ貢献します。



主な事業

- 建設機械・資材、コンテナハウスの製造販売及びレンタル
- イベント・ファニッシング事業

関連する主な市場

- 建設業（建設・道路工事、プラントなど）
- 製造業（工場、建機・建材メーカーなど）
- 建機レンタル業 ● 物流・倉庫業 ● リユース市場
- イベント業者などのサービス業

市場環境

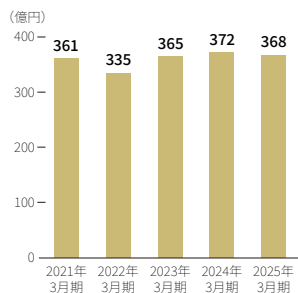
【機会】

- 災害時・防災・減災対応
インフラ整備需要
- 建設現場のDX・自動化・
カーボンニュートラル推進
- 労働環境の改善
- 社会インフラの老朽化対応
（道路・水道管工事等）

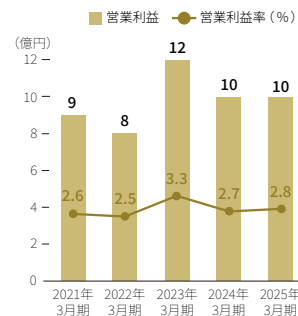
【リスク】

- 着工数の減少
- 労働人口の減少による人
手不足
- 人件費・資材高騰による
工期の長期化

売上高

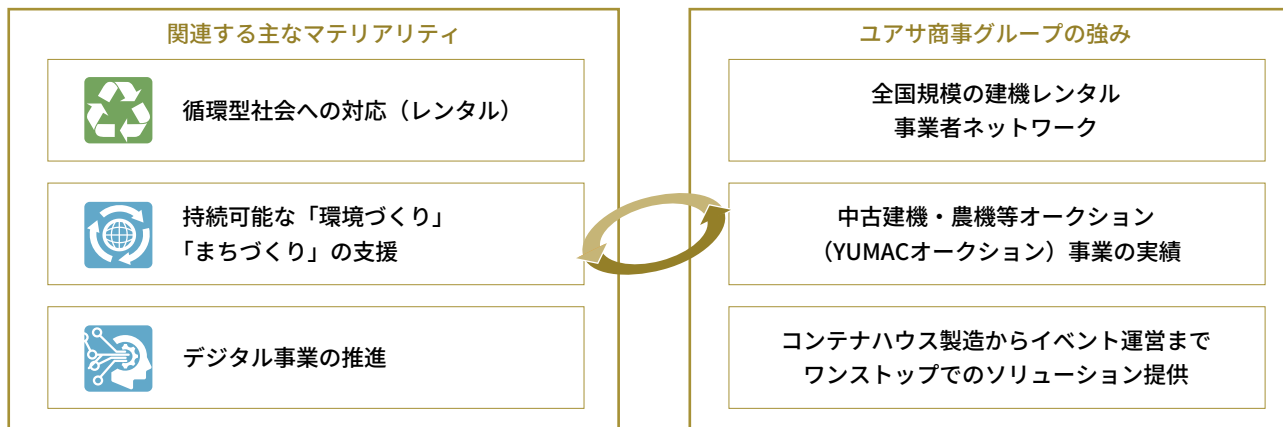


営業利益／営業利益率



※2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後

マーケットアウトと強みの組み合わせ



つなぐイノベーションの例

【マテリアリティ】 持続可能な「環境づくり」「まちづくり」の支援 × 【強み】 ワンストップでのソリューション提供

グループ会社ネットワークの強化によるイベント・ファニッシング事業の推進

当社グループでは、イベント運営・ハウスレンタル事業を展開するユアサマクロスを中心に、成長戦略の一つでもあるシェアリングビジネスの拡大に取り組んでいます。2025年3月にM&Aにより当社グループに新たに加わったラインナップ社は、東京・大阪・中部圏でイベント設営・ファニッシング事業を展開し、「東京オリンピック・パラリンピック」等の各種イベント・催事設営や、大手ホームセンターやドラッグストア等のレイアウト変更・搬入出作業など、豊富な実績を有します。コンテナハウス製造を手掛ける富士クオリティハウス等とも連携し、相互のリソースを有効活用することで関連する事業領域を拡大し、企業価値の更なる向上へつなげていきます。



ラインナップ社によるイベント設営・ファニッシング事業

コア事業

エネルギー部門

スマート&脱炭素社会に相応しいエネルギーの安定供給を実現します。



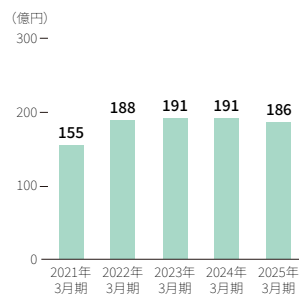
主な事業

- 石油製品（自動車・船舶用燃料）の販売
- カーケア、カーメンテナンス関連商品の販売 ほか

関連する主な市場

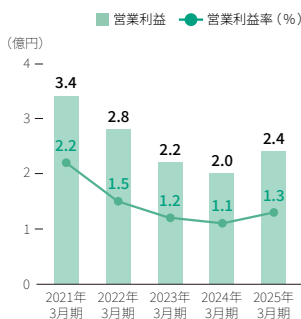
- ガソリンスタンド運営
- レンタカー、中古車販売市場
- 船舶燃料市場

売上高



※ 2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後

営業利益／営業利益率



関連する主なマテリアリティ



「良品奉仕」による
安心＆安全な社会の形成



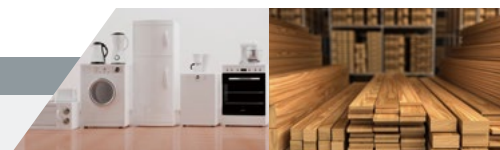
気候変動への対応
(レジリエントな社会の実現)



循環型社会への対応
(レンタル&シェアリング)

その他（消費財・木材）部門

持続可能なライフスタイルを支えるプロダクトを提案します。



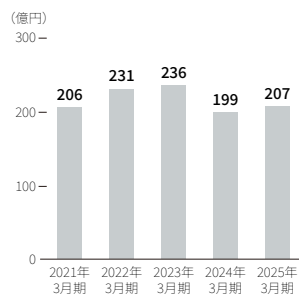
主な事業

- 季節家電や調理家電などの消費財、木材製品の販売

関連する主な市場

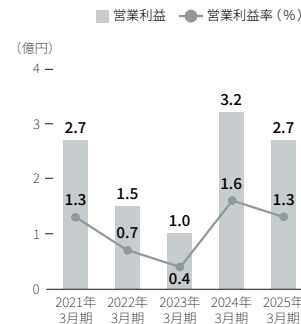
- 〈消費財〉家電量販店・ホームセンター・インターネット販売
- 〈木材〉建材卸、建材メーカー、森林組合

売上高



※ 2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後

営業利益／営業利益率



関連する主なマテリアリティ



「つなぐ」共創価値の創造



「良品奉仕」による
安心＆安全な社会の形成



気候変動への対応
(レジリエントな社会の実現)

特集 ②

新市場への展開（介護・医療／食品／農業）

既存コア事業で培った強みを成長市場に展開し、将来に向けた新たな収益の柱とすることを目指します。

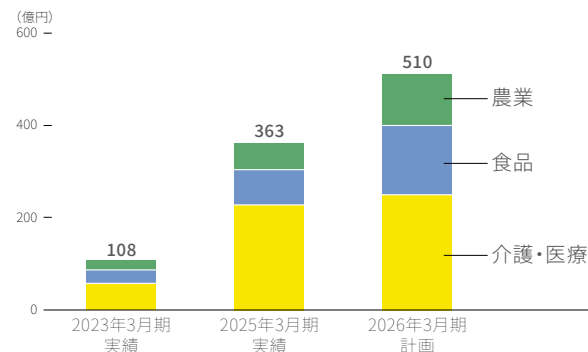
「新事業」戦略の推進による成果

成長戦略のうち、「介護・医療」「食品」「農業」の3つの戦略は、既存コア事業でこれまで培ってきた強みを新たな市場に展開し開拓を目指す「新事業」戦略と位置づけています。

これらは人が生きていくうえで欠かせない、景気動向に左右されにくい産業分野であり、当社グループの事業の安定性の向上に資する戦略であると考えています。2026年3月期にはこれら3つの戦略合計で、全社売上目標（5,500億円）の1割近くに当たる510億円の売上を目標としています。

2025年3月期の実績は363億円となり、2023年3月期の実績である108億円から3倍以上の規模に伸長しています。「つなぐ」イノベーションの発揮による新たな商品・サービスの展開や、介護・医療現場、食品工場及び農業現場における省人化・省力化、カーボンニュートラル提案などを通じ、当社グループにおける新たな収益の柱とすることを目指します。

「新事業」戦略分野の進捗



Topics

主な取り組み状況

【介護・医療】現場の社会課題を解決するソリューション

省エネ診断から高効率空調、LED照明の導入までワンストップでのカーボンニュートラル支援をはじめとして、介護ベッドやクリーンパーテーションなど、介護・医療現場で使用する設備・器具の導入も進めています。



医療施設におけるLED照明の導入

【食品】食品製造工場における「スマート化」提案

食品分野においては、食品製造工場におけるデジタルを活用した人手不足対策や業務効率化に貢献するソリューション提案を進めています。

当社グループが開発・販売を行うAI検品システム「F[i]ND OUT シリーズ」は、これまで人の目に頼っていた異物混入や不良品判定をAIカメラにより自動化するソリューションで、既に飲料や調味料、また加工食品の生産現場などで導入が進んでいます。また、水や油に強く工場内物流に活躍する無人搬送ロボットや、機器の不調やメンテ

ナンスを遠隔で確認・指示可能なウェアラブル端末など、工場のDX化に繋がるソリューションの展開を進めています。

さらに、当社がこれまでコア事業で培った強みを活かし、食品工場の新設及び更新時における総合提案を推進しています。加工設備、包装機械や製造・搬送ラインなど、食品工場で必要とされる様々な機械・機器を新設・更新計画の設計とパッケージで提案し、単品の「モノ売り」に留まらない当社ならではの価値創造に取り組んでおります。加えて、世界的に需要が高まる「コールドチェーン（低温物流）」に向けた提案として、冷凍加工機や冷凍・冷蔵コンテナ等の取り組みを、国内及びタイを中心に推進しております。

【農業】省力化・効率化提案と当社ネットワークによる価値創造

農業従事者の減少や飼料価格の高騰などに対応するため、農業現場の省人化・省力化、及び効率化に向けたソリューション提案を行っています。

不整地に強い四輪差動自動走行ロボット「AgileX」を活用した収穫物の運搬システムや、飼料の自給を可能にし調達コストの節減などに貢献する酪農業向けあっぺん機など、現場ニーズに適した製品・サービスの開発・提供を進めています。また、当社が有する中古建機の流通ネットワークを活用し、全国5カ所の自社拠点とWebによる国産中古農機のオークションを定期的に開催しています。

今後も当社グループの強みを活かした付加価値の創造を通じ、農業分野における社会課題の解決に取り組んでいきます。

経営指標

有価証券報告書

<https://www.yuasa.co.jp/ir/library/asr.html>

(会計年度)

財務データ(連結)	単位	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月*	2023年3月	2024年3月	2025年3月
売上高	百万円	441,723	442,042	446,335	461,749	493,627	491,348	432,185	462,725	504,806	526,569	528,387
営業利益	百万円	9,815	10,357	10,923	11,402	12,517	11,871	8,983	11,880	14,599	14,723	15,761
経常利益	百万円	10,353	11,039	11,704	12,149	13,437	12,804	10,011	11,744	15,382	15,737	16,010
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	7,494	7,190	7,777	8,261	9,038	8,950	6,930	8,058	10,079	11,812	10,242
総資産	百万円	204,897	202,891	216,984	235,022	247,747	237,071	237,487	259,413	271,218	290,989	287,635
有利子負債	百万円	11,935	4,972	3,117	3,138	3,048	4,290	4,472	3,709	3,691	7,421	6,690
ネットD/Eレシオ	倍	△ 0.37	△ 0.45	△ 0.47	△ 0.46	△ 0.44	△ 0.49	△ 0.42	△ 0.54	△ 0.51	△ 0.34	△ 0.34
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	12,476	9,114	11,908	6,645	4,387	12,970	5,982	10,213	8,338	24,094	15,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	3,550	△ 589	△ 3,652	△ 1,355	△ 873	△ 2,843	△ 3,509	4,776	△ 2,845	△ 34,240	△ 9,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 11,810	△ 8,982	△ 5,501	△ 2,418	△ 3,182	△ 3,509	△ 3,713	△ 3,553	△ 6,890	△ 478	△ 4,797
EPS (1株当たり当期純利益)	円	340.82	326.27	352.45	373.22	408.27	403.55	313.03	364.54	466.23	561.88	487.11
BPS (1株当たり純資産)	円	2,369.99	2,573.88	2,910.02	3,236.29	3,464.20	3,635.18	4,057.16	4,160.75	4,483.99	4,848.90	5,175.40
1株当たり配当金	円	—	100	95	110	140	150	100	123	140	182	190
ROA (総資産経常利益率)	%	5.0	5.4	5.6	5.4	5.6	5.3	4.2	4.7	5.8	5.6	5.5
ROE (自己資本純利益率)	%	15.6	13.2	12.9	12.2	12.2	11.4	8.1	8.9	10.8	12.0	9.7
自己資本比率	%	25.5	28.0	29.6	30.5	30.9	34.0	37.7	35.5	34.9	35.0	37.8
株主還元率	%	24.9	30.6	27.0	29.5	34.3	37.2	31.9	33.7	67.0	34.9	39.4

※ 2022年3月期以降の売上高は収益認識基準適用後の数値を記載しています

非財務データ集

範囲について：

【単体】ユアサ商事株式会社

【グループ】子会社及び関連会社（株式会社ラインナップ、持分法適用会社を除く）

ESG データ集

<https://www.yuasa.co.jp/sustainability/esg/>



環境関連データ

CO ₂ 排出量 Scope1、2		単位	2023年3月	2024年3月	2025年3月
【単体】	Scope1	t-CO ₂	1,025	995	970
	Scope2	t-CO ₂	1,232	813	722
	Scope1+2	t-CO ₂	2,257	1,808	1,692
【グループ】	Scope1	t-CO ₂	3,020	3,094	3,337
	Scope2	t-CO ₂	1,405	1,431	1,417
	Scope1+2	t-CO ₂	4,425	4,526	4,754
【単体+グループ】	Scope1+2	t-CO ₂	6,682	6,335	6,447

【単体】 Scope3 カテゴリー		単位	2025年3月
1	購入した製品・サービス	t-CO ₂	1,030,167
2	資本財	t-CO ₂	1,103
3	Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー活動	t-CO ₂	425
5	事業から出る廃棄物	t-CO ₂	543
6	出張	t-CO ₂	1,716
7	雇用者の通勤	t-CO ₂	433

※ カテゴリー 4、9、10、11、12：取り扱い商材が多岐にわたり情報の入手が困難であるため現時点では算定していません

※ カテゴリー 8、13、14、15：対象となる活動はありません

※ カテゴリー 5 のみ単体+国内グループ会社の実績値です

従業員データ【単体】

	単位	2023年3月	2024年3月	2025年3月
従業員数 ^{※1} （かっこ内は連結）	名	1,103 (2,533)	1,184 (2,621)	1,264 (2,891)
	（男性）	名	660	686
	（女性）	名	443	548
総合職人数	名	795	800	846
	（男性）	名	762	768
	（女性）	名	33	47
女性総合職比率	%	4.2	4.0	5.6
女性管理職比率	%	1.9	2.0	1.7

従業員データ【単体】

	単位	2023年3月	2024年3月	2025年3月
新卒採用者（合計）	名	57	76	70
	（男性）	名	35	43
	（女性）	名	22	36
新卒総合職採用者（合計）	名	39	46	42
	（男性）	名	35	34
	（女性）	名	4	8
新卒女性総合職採用比率	%	10.3	6.5	19.0
新卒一般職採用者（合計）	名	18	30	28
正規雇用労働者の経験者比率	%	29.9	32.0	34.7
障がい者社員数	名	20	24	24

労働慣行データ【単体】

	単位	2023年3月	2024年3月	2025年3月
正規雇用労働者 平均年収 ^{※2}	千円	7,950	8,195	8,209
	（男性）	千円	9,479	9,877
	（女性）	千円	5,315	5,666
正規雇用労働者 女性平均年収率 ^{※2、3}	%	56.1	56.4	57.4
有期・アルバイト労働者 女性平均年収率 ^{※2}	%	53.9	49.4	50.6
すべての労働者 女性平均年収率 ^{※2}	%	55.4	55.8	57.0
男性育児休業及び育児目的休暇取得率	%	78.1	72.5	74.4
有給休暇取得率 ^{※1}	%	62.8	67.8	64.0
平均総労働時間 ^{※1}	時間	1,955	1,934	1,923

労働安全衛生データ

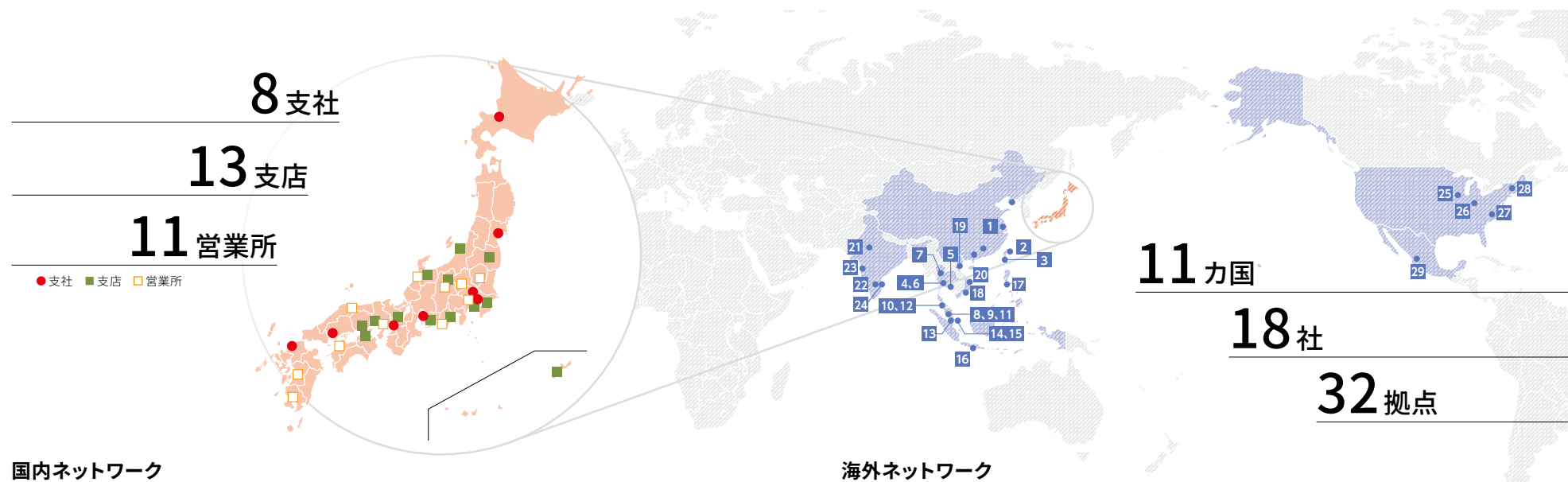
	単位	2023年3月	2024年3月	2025年3月
健康診断受診率 ^{※1}	%	100.0	100.0	100.0
ストレスチェック受診率 ^{※1}	%	100.0	99.4	99.8
死亡災害者数 ^{※1}	名	0	0	0
死亡事故件数 ^{※1}	件	0	0	0
過失致死傷件数 ^{※1}	件	0	0	0
休業災害者数 ^{※1}	名	0	0	0

※ 1 除く出向者 ※ 2 除く海外出向者 ※ 3 同一職掌において、役割等級の年齢及び評価が同一社員の男女間の賃金差はありません

ガバナンス関連データ

	単位	2023年3月	2024年3月	2025年3月
取締役人数（社外取締役含む）	名	8	9	9
	（男性）	名	7	7
	（女性）	名	1	2
女性取締役比率（社外取締役含む）	%	12.5	11.1	22.2

ユアサ商事グループネットワーク (2025年5月31日現在)



国内ネットワーク

- | | | | |
|-----------|----------|---------|-----------|
| ● 本社・関東支社 | □ 高崎営業所 | ● 中部支社 | ■ 四国支店 |
| ● 北海道支社 | □ 宇都宮営業所 | ■ 北陸支店 | □ 松山営業所 |
| ● 東北支社 | ■ 東関東支店 | □ 金沢営業所 | ● 中国支社 |
| ■ 郡山支店 | □ 西関東営業所 | ■ 京都支店 | □ 米子営業所 |
| ■ 新潟支店 | ■ 横浜支店 | ● 関西支社 | ● 九州支社 |
| ■ 長野支店 | ■ 静岡支店 | □ 神戸営業所 | □ 九州中央営業所 |
| □ 松本営業所 | □ 浜松営業所 | ■ 姫路支店 | □ 鹿児島営業所 |
| ● 北関東支社 | ■ 岡崎支店 | ■ 岡山支店 | ■ 沖縄支店 |

国内グループ会社

- | | | |
|--------------------|------------------|--------------------------|
| ● 株式会社国興 | ● 株式会社サンエイ | ● 株式会社丸建サービス |
| ● ユアサネオテック株式会社 | ● フシマン商事株式会社 | ● ユアサ燃料株式会社 |
| ● ユアテクニカ株式会社 | ● ユアサクオビス株式会社 | ● 中部アイビー株式会社 |
| ● ロボットエンジニアリング株式会社 | ● 浦安工業株式会社 | ● ユアサシステムソリューションズ株式会社 |
| ● 中川金属株式会社 | ● ユアサ木材株式会社 | ● ユアサビジネスサポート株式会社 |
| ● ユアサプライム株式会社 | ● ユアサマクロス株式会社 | ● connectome.design 株式会社 |
| ● 友工商事株式会社 | ● 富士クオリティハウス株式会社 | |
| ● 株式会社マルボシ | ● 株式会社ラインナップ | |

海外ネットワーク

中国

- 湯浅商事（上海）有限公司 ¹
[本 社] 上海
[分公司] 大連事務所／蘇州事務所／広州事務所

台湾

- YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.
[本 社] 台北 ² [分公司] 台中 ³

タイ

- YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.
[本 社] バンコク ⁴ [支 店] シーラチャ ⁵
- YUASA ENGINEERING SOLUTION (THAILAND) CO.,LTD. ⁶
[本 社] バンコク
- HENKO TECHNOLOGIES (THAILAND) CO.,LTD. ⁷
[本 社] バトゥムターニー

マレーシア

- YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD. ⁸
- NICHU-MA SEIKO REMANUFACTURING (M) SDN. BHD. ⁹
[本 社] クアラルンプール
- BME INDUSTRIES (M) SDN.BHD.
[本 社] ペナン ¹⁰ [支 店] クアラルンプール ¹¹
- BME TECHNICS SDN.BHD. ¹²
[本 社] ペナン
- HENKO MACHINE TOOLS SDN.BHD. ¹³
[本 社] ジョホールバール

シンガポール

- HENKO (S) PTE.LTD. ¹⁴
- HENKO MACHINE TOOLS PTE. LTD. ¹⁵
[本 社] シンガポール

インドネシア

- PT. YUASA SHOJI INDONESIA ¹⁶
[本 社] チカラ

フィリピン

- YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC. ¹⁷
[本 社] マニラ

ベトナム

- YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.
[本 社] ホーチミン ¹⁸ [支 店] ハノイ ¹⁹ ダナン ²⁰

インド

- YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED
[本 社] グルグラム ²¹
[支 店] バンガロール ²² プネ ²³ チェンナイ ²⁴

米国

- YUASA-YI, INC.
[本 社] シカゴ ²⁵
[支 店] シンシナティ ²⁶
サウスキャロライナ ²⁷
ニューイングランド ²⁸

メキシコ

- YUASA SHOJI MEXICO. S.A. DE C.V. ²⁹
[本 社] レオン

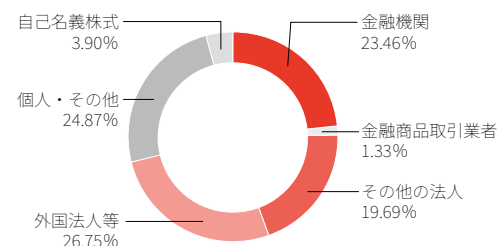
株式情報 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000 株

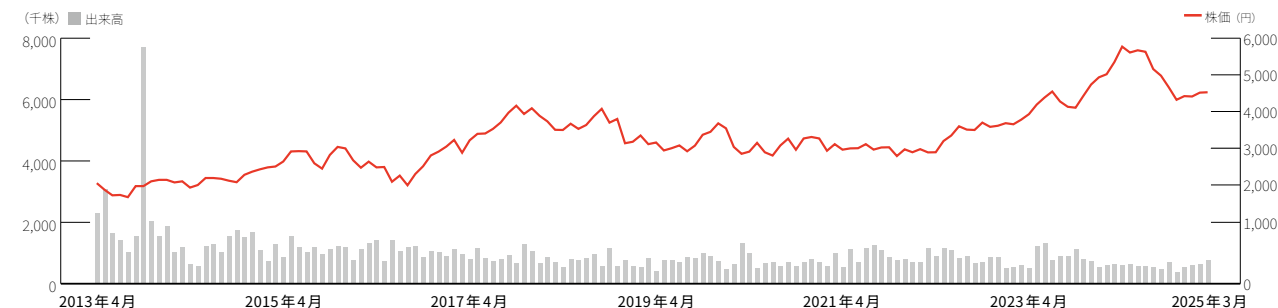
発行済株式総数 22,100,000 株
(自己株式 861,862 株を含む)

株主数 7,472 名
※1 単元株式数は100株です

所有者別株式数比率



株価及び出来高の推移



大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,674	12.59
光通信株式会社	1,001	4.71
ユアサ炭協持株会	959	4.51
野村信託銀行株式会社	884	4.16
BNYM AS AGT/CLTS 10PERCENT	868	4.09
株式会社日本カストディ銀行	841	3.95
東部ユアサやまずみ持株会	654	3.08
西部ユアサやまずみ持株会	607	2.86
ユアサ商事社員持株会	540	2.54
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	483	2.27

※2 千株未満は切り捨てて表示しています。
 ※3 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しています。
 ※4 当社は自己株式 861 千株を保有していますが、上記の大株主から除いています。なお、自己株式には、役員報酬 BIP 信託が保有する当社株式 (206 千株) は含まれていません。
 ※5 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりです。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,674 千株
野村信託銀行株式会社	884 千株
株式会社日本カストディ銀行	841 千株

当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況

区分	株式数	交付対象者数
取締役 (社外取締役を除く)	7,000 株	1 名

会社概要 (2025年3月31日現在)



商号 ユアサ商事株式会社

本社 東京都千代田区神田美土代町7番地

創業 1666年 (寛文6年) 3月

設立 1919年 (大正8年) 6月25日

資本金 20,644 百万円

従業員数 2,891 名 (連結) 1,264 名 (単体)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

証券コード 8074

事業年度 4月1日から翌年3月31日
(決算期3月)

主要取引金融機関 [銀行] 株式会社三井住友銀行
 [生保] 住友生命保険相互会社
 [損保] 三井住友海上火災保険株式会社
 [証券] 野村證券株式会社